

2019 年度(令和元年度) 年間活動報告

ダイバーシティ推進センターは、2019 年（平成 31 年）4 月 1 日より活動を開始しました。これまで、ダイバーシティに関する活動は、「医師・医学生支援センター」（平成 22 年 4 月発足）や「医師・学生・研究者支援センター」（平成 25 年 11 月改組）で行われてきましたが、ダイバーシティ推進センターは、これらの活動を継承しつつ、大学法人すべての構成員を対象として、ダイバーシティを推進することになりました。

組織としては、法人のダイバーシティ推進本部直下の組織に位置付けられ、ダイバーシティ推進の実行部隊として活動します。ダイバーシティ推進センターは、5 部門(学生部門、医師・研究者・教員部門、看護部門、コメディカル部門、事務部門)に分かれてダイバーシティの推進活動を行うとともに、横断プロジェクトとして育児支援などを行っていきます。令和元年度は、組織図、規程の改定などの体制作りから始め、働き方などについて大学病院を中心に調査を行いました。

また、7 月 3 1 日(水)には「医師を目指す中高生と保護者のための講演会」、11 月 5 日にはダイバーシティ推進センターセミナー「思考のダイバーシティのために」を開催しました。

学外との連携も行い、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（全国ネットワークおよび東京ブロック）に参画することになりました。この関連で、2020 年 11 月には本学で医学部に特化した全国ネットワークシンポジウムを開催する予定です。

この他、継続事業として、相談窓口の開設、就業継続・復職支援、育児支援、新院内保育園開設準備、研究者支援（ライフイベント中の研究者に対する研究活動支援者配置など）、ダイバーシティ・キャリア教育（症候学入門、医療プロフェッショナルⅠ、Ⅲ）、交流会（大学キャンパス、病院キャンパス、八王子医療センター、茨城医療センターで開催）、「研究者とワーク・ライフ・バランスに関するアンケート」の実施、「教員および臨床研究医教員の研究環境の現状と共同研究に対する希望」調査、医師・研究者・教員並びに学生部門紹介リーフレットの作成、ダイバーシティ推進センターホームページの作成など多様なダイバーシティに関する事業を行いました。

ダイバーシティ推進センターは令和元年度に新生東京医大の象徴的存在として産声をあげました。まだまだ、活動が軌道に乗ったとは言えませんが、今後のダイバーシティ推進のために皆様のご協力をお願い致します。

(ダイバーシティ推進センター長 石龍徳)

センター活動

- ・ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（全国ネットワークおよび東京ブロック）に参画・活動
- ・ダイバーシティ推進本部会議の開催 5 回
- ・ダイバーシティ推進セミナーの開催
- ・ダイバーシティ推進センターホームページの開設
- ・横断プロジェクト 育児支援の推進 新保育園開園準備

部門活動

医師・研究者・教員部門

相談窓口

- ・年間延べ相談件数 30 件（研究相談含む）

就業継続・復職支援

- ・現在の病院助教医師、新規に病院助教申請をする医師との面談
- ・医師や研修医に対して、ダイバーシティやワーク・ライフ・バランスを考える機会の提供

育児支援

- ・ファミリーサポート利用実績：年間 794 件(依頼会員 98 名)
- ・新保育園開園準備

研究者支援

- ・ライフイベント中の研究者に研究活動支援者を配置（のべ 16 名、うち男性 2 名）
- ・科研費申請個別支援
- ・「教員および臨床研究医教員の研究環境の現状と共同研究に対する希望」調査の実施
- ・交流会(東京医大カフェ)の開催 新宿、西新宿、茨城、八王子キャンパス

調査・広報

- ・「研究者とワーク・ライフ・バランスに関するアンケート」の実施
- ・医師・研究者・教員並びに学生部門紹介リーフレットの作成

学生部門

学生支援

- ・医学科学生に対してダイバーシティやキャリアを考える機会の提供
- ・次世代育成のための医学部紹介講演会の実施